ご挨拶

彩企業年金基金
理事長 北林 辰哉
（株式会社 丸一）

事業主さま及び加入者の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当基金の事業運営に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

2017年4月に設立いたしました「彩企業年金基金」も本年4月をもちまして丸1年を迎えることができました。偏に事業主さま、加入者さまの温かい御厚情の賜物と心より深く御礼申し上げます。

内閣府の発表によりますと、2017年の我が国の景気は実質GDPの着実な改善により、ゆるやかに回復が続いている状況でした。円安・株高の好循環や個人消費の持ち直し、企業の設備投資の増加などで、2017年10月-12月期GDPの上昇は8四半期連続のプラス成長となりました。これはバブル期以来、約28年ぶりの長さとなっております。

しかしながら、2018年2月以降の株価の乱高下や昨今の北朝鮮情勢、少子高齢化による人手不足など、日本を取り巻く大きな問題も取りざたされております。また、2019年10月に先送りされた消費税の10%への増税など、今後我々を取り巻く経済環境も大きく変わろうとしております。当基金といたしましては、老後の大切な年金を守り給付を行っていくために、今後も健全な運用と運営に努めてまいります。

本年4月からはDC制度実施事業所さまにおいて、事業所さま負担分にさらに追加して加入者さまが掛金を拠出できる「マッチング拠出」制度を開始いたします。拠出時や運用時・受取時に税の優遇を受けることができ、非常に利便性の高い制度となっておりますので、ぜひ当基金の「マッチング拠出」をご利用いただければと思っております。

彩企業年金基金では2年目以降も、事業所さまの更なる発展とそこで働く皆さまの老後の安心を支える企業年金を目指し、事務局一同、いっそう業務に邁進する所存でございますので、どうかこれまで以上にご理解とご協力をお願い申し上げます。